



平成23年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月7日

上場取引所 東大

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社
コード番号 8127 URL <http://www.yamatointr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 盤若 智基
(氏名) 高橋 俊輔
配当支払開始予定日

TEL 03-5493-5629
平成23年4月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第2四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第2四半期	11,925	—	1,007	—	1,014	—	519	—
22年8月期第2四半期	11,443	△3.4	785	23.5	799	20.9	447	42.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第2四半期	24.37	—
22年8月期第2四半期	20.99	—

(注)当社は、平成22年8月期より決算期を毎年11月30日から毎年8月31日に変更しております。これに伴い、平成23年8月期第2四半期(9月から2月)と平成22年8月期第2四半期(12月から5月)とは対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年8月期第2四半期	30,564	20,880	68.3	979.73
22年8月期	27,967	20,470	73.2	960.46

(参考) 自己資本 23年8月期第2四半期 20,880百万円 22年8月期 20,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	—	—	11.00	11.00
23年8月期	—	8.00	—	—	—
23年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)当四半期における配当予想の修正有無 有

平成23年8月期の期末配当金につきましては、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災が当社の事業活動に及ぼす影響等、見通しを立てることが困難なため、現時点では未定といたしました。当該震災の影響を精査し、確定次第速やかに開示いたします。

3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

平成23年8月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災が当社の事業活動に及ぼす影響等、見通しを立てることが困難なため、現時点では未定といたしました。当該震災の影響を精査し、確定次第速やかに開示いたします。

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年8月期2Q 22,502,936株 22年8月期 22,502,936株

② 期末自己株式数 23年8月期2Q 1,190,247株 22年8月期 1,188,500株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年8月期2Q 21,313,144株 22年8月期2Q 21,314,011株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の改善及び政府の景気対策効果等により、国内の企業業績や個人消費に小幅ながら持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の下振れ懸念や円高の進行、厳しい雇用情勢等、先行き不透明な状況が続きました。

当業界におきましても、個人消費は緩やかながら回復基調で推移しましたが、不安定な景気情勢を背景とした消費者の生活防衛意識は根強く、依然として厳しい商況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループでは、「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を基本方針として、「真の顧客起点」と「真の小売業化」を念頭に、既存ビジネスモデルの成長と店舗運営力の強化に注力してまいりました。また、「ローコスト経営」を意識し、収益性とキャッシュ・フローを重視し、業務及び物流システムの効率化や生産拠点の積極的な見直しを図る等、「高収益ビジネスモデルへの再挑戦」を推進してまいりました。

販売面では、決算期の変更によって、より小売に適した販売体制となったことを機に、基幹ブランドの「クロコダイル」「エーグル」「スイッチモーション」を中心とする自主管理型売場の更なる成長を目指し、販売効率の向上や機会ロスの削減に努める一方、「ベイジェジェ」等の育成ブランドの強化も図ってまいりました。

この結果、当社の自主管理型売場は前年同期末より純増で20店舗増加し、751店舗となりました。

また、重点事業であるインターネット・モバイル事業の更なる充実にも努めてまいりました。

なお、不動産賃貸事業につきましては、引き続き東京本社ビル及び日本橋ビル等の自社物件を有効活用し、安定した収益を計上しております。

経費面では、業務の効率化や諸経費の見直しを通じて「ローコスト経営」に努めており、自主管理型売場の増加に伴う販売費及び一般管理費は増加傾向にありますが、売上高に対する比率は適正な水準を維持しております。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社では、在庫管理や入出荷業務の精度を向上させ、布帛シャツ及びアウター等の製造を行う上海雅瑪都時装有限公司では、品質の向上と生産ラインの効率運営に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期における連結業績は、売上高は119億2千5百万円（前年同期比1.0%増）となり、利益面では、商品企画の精度向上及び「ローコスト経営」に注力した結果、売上総利益率は50.5%と1.6ポイント上昇し、営業利益は10億7百万円（前年同期比21.2%増）、経常利益は10億1千4百万円（前年同期比21.7%増）、四半期純利益は5億1千9百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業117億9千5百万円、不動産賃貸事業1億3千万円となりました。

なお、当社は前連結会計年度より決算期を11月期から8月期に変更したことにより、前年同期比につきましては、平成21年11月期第4四半期連結会計期間及び平成22年8月期第1四半期連結会計期間の累計（平成21年9月1日から平成22年2月28日）との比較を掲載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は156億2千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ27億2千7百万円増加いたしました。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は85億1千8百万円から19億9千万円増加し105億9百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は1億6百万円増加し、22億1百万円となりました。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は149億4千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億3千万円減少いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が8千6百万円減少し投資有価証券が3億6百万円増加し投資その他の資産のその他が3億3百万円減少したこと等によるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は76億8千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ22億9千7百万円増加いたしました。主な要因につきましては、支払手形及び買掛金が20億3千6百万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は19億9千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億1千万円減少いたしました。主な要因につきましては、長期借入金が2億5百万円減少し、新たな会計基準の適用により発生した資産除去債務を1億3千2百万円計上したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は208億8千万円となり、前連結会計年度末と比べ4億9百万円増加いたしました。主な要因につきましては、利益剰余金が2億8千5百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億4千万円増加したことによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.2%から4.9ポイント低下し、68.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の連結累計期間の業績は、売上高では昨年一部のブランド廃止をした影響もありましたが、これを補い、前年を上回る結果を残すことが出来ました。特に収益面では売上総利益率の改善等により、計画を概ね上回って推移いたしました。

しかし、平成23年8月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生いたしました東日本大震災が当社の事業活動に及ぼす影響等、見通しを立てることが困難なため、現時点では未定といたしました。当該震災の影響を精査し、確定次第速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ7,173千円減少し、税金等調整前四半期純利益は85,163千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は137,679千円であります。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,570,228	3,385,397
受取手形及び売掛金	2,201,970	2,095,541
有価証券	6,938,783	5,133,516
商品及び製品	2,412,860	1,870,568
仕掛品	88,434	37,081
原材料及び貯蔵品	25,619	33,976
繰延税金資産	187,737	191,775
その他	195,784	146,163
貸倒引当金	△229	△210
流動資産合計	15,621,189	12,893,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,767,713	2,843,730
機械装置及び運搬具(純額)	36,133	39,452
土地	7,931,184	7,935,910
リース資産(純額)	14,276	16,353
建設仮勘定	14,336	5,243
その他(純額)	61,694	70,734
有形固定資産合計	10,825,339	10,911,425
無形固定資産		
146,754		148,880
投資その他の資産		
投資有価証券	2,046,652	1,739,738
差入保証金	1,451,568	1,463,692
繰延税金資産	287,967	322,041
その他	227,598	531,326
貸倒引当金	△42,782	△43,272
投資その他の資産合計	3,971,004	4,013,525
固定資産合計	14,943,097	15,073,832
資産合計	30,564,286	27,967,642

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,757,081	3,720,090
1年内返済予定の長期借入金	407,320	203,320
未払法人税等	464,884	235,820
賞与引当金	109,440	117,592
返品調整引当金	38,000	39,000
ポイント引当金	102,423	98,020
資産除去債務	1,678	—
その他	804,793	974,431
流動負債合計	7,685,622	5,388,275
固定負債		
長期借入金	1,085,690	1,291,350
退職給付引当金	521,832	523,459
資産除去債務	132,884	—
その他	257,563	293,726
固定負債合計	1,997,970	2,108,535
負債合計	9,683,592	7,496,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	10,925,506	10,640,457
自己株式	△652,417	△652,123
株主資本合計	20,835,647	20,550,892
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62,892	△77,394
繰延ヘッジ損益	△20,220	△38,561
為替換算調整勘定	2,374	35,894
評価・換算差額等合計	45,046	△80,060
純資産合計	20,880,694	20,470,831
負債純資産合計	30,564,286	27,967,642

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
売上高	11,443,398	11,925,826
売上原価	5,732,354	5,907,372
売上総利益	5,711,043	6,018,454
返品調整引当金戻入額	65,000	39,000
返品調整引当金繰入額	54,000	38,000
差引売上総利益	5,722,043	6,019,454
販売費及び一般管理費	4,936,628	5,012,331
営業利益	785,415	1,007,123
営業外収益		
受取利息	12,189	10,720
受取配当金	11,738	10,725
その他	26,326	13,417
営業外収益合計	50,254	34,862
営業外費用		
支払利息	14,670	13,552
賃貸借契約解約損	18,400	—
為替差損	1,988	13,853
その他	989	502
営業外費用合計	36,049	27,908
経常利益	799,620	1,014,077
特別利益		
投資有価証券売却益	3,201	—
貸倒引当金戻入額	428	380
固定資産売却益	—	29,751
特別利益合計	3,629	30,131
特別損失		
固定資産除却損	28,520	11,214
減損損失	2,746	18,392
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	82,452
特別損失合計	31,267	112,059
税金等調整前四半期純利益	771,981	932,148
法人税、住民税及び事業税	324,271	447,784
法人税等調整額	285	△35,132
法人税等合計	324,556	412,651
少数株主損益調整前四半期純利益	—	519,497
四半期純利益	447,425	519,497

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	5,453,888	6,207,830
売上原価	2,504,759	3,318,494
売上総利益	2,949,129	2,889,336
返品調整引当金戻入額	46,000	58,000
返品調整引当金繰入額	54,000	38,000
差引売上総利益	2,941,129	2,909,336
販売費及び一般管理費	2,469,826	2,502,731
営業利益	471,302	406,604
営業外収益		
受取利息	7,288	5,648
受取配当金	3,572	9,089
還付加算金	8,360	—
その他	10,886	6,282
営業外収益合計	30,107	21,020
営業外費用		
支払利息	7,400	6,629
賃貸借契約解約損	18,400	—
為替差損	1,794	5,972
その他	673	290
営業外費用合計	28,269	12,891
経常利益	473,141	414,733
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	454
固定資産売却益	—	28,926
特別利益合計	—	29,380
特別損失		
固定資産除却損	16,791	8,798
減損損失	—	17,369
特別損失合計	16,791	26,167
税金等調整前四半期純利益	456,350	417,946
法人税、住民税及び事業税	274,970	138,259
法人税等調整額	△77,764	44,729
法人税等合計	197,206	182,988
少数株主損益調整前四半期純利益	—	234,958
四半期純利益	259,143	234,958

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	771,981	932,148
減価償却費	159,622	165,949
減損損失	2,746	18,392
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△1,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,808	4,403
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△428	△470
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,426	△1,626
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△8,027
受取利息及び受取配当金	△23,927	△21,445
支払利息	14,670	13,552
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,201	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△29,751
固定資産除却損	28,520	11,214
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	82,452
売上債権の増減額(△は増加)	465,305	△109,983
たな卸資産の増減額(△は増加)	61,778	△589,719
仕入債務の増減額(△は減少)	699,089	2,038,966
その他の資産の増減額(△は増加)	18,794	△41,647
その他の負債の増減額(△は減少)	63,647	△128,019
その他	△21,769	4,189
小計	2,235,449	2,339,578
利息及び配当金の受取額	24,924	21,485
利息の支払額	△16,679	△13,712
法人税等の支払額	△41,164	△231,636
法人税等の還付額	304,912	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,507,442	2,115,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△127,240	△24,612
定期預金の払戻による収入	20,430	324,612
有価証券の取得による支出	—	△603,634
有形固定資産の取得による支出	△189,437	△81,168
有形固定資産の売却による収入	—	34,504
無形固定資産の取得による支出	△22,981	△14,203
投資有価証券の取得による支出	△147,736	△208,130
投資有価証券の売却による収入	32,532	—
差入保証金の差入による支出	△48,012	△12,537
差入保証金の回収による収入	32,586	15,195
その他	—	△1,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,860	△571,384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	400,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△347,700	△101,660
自己株式の取得による支出	△289	△294
配当金の支払額	△191,829	△234,448
その他	—	△2,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,819	△238,747

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,201	△15,254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,922,964	1,290,329
現金及び現金同等物の期首残高	6,258,579	8,453,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,181,543	9,744,042

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)

	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,303,530	139,867	11,443,398	—	11,443,398
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	11,303,530	139,867	11,443,398	—	11,443,398
営業利益	1,037,377	62,842	1,100,220	△314,804	785,415

(注) 1. 事業区分の方法

事業は内部管理上採用している売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な製品

事業区分	主要製品
繊維製品製造販売業	カットソーニット、布帛シャツ、横編セーター、アウター、ボトム、小物・その他
不動産賃貸事業	オフィスビル、マンションの賃貸

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)における所在地別セグメント情報は、本邦の売上高の金額が全セグメントに占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)における海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社グループは、カジュアルウェア中心のアパレル企業であり、衣料品の生産及び販売並びにこれら製品に関連した繊維製品製造販売業並びに不動産賃貸事業を営んでおります。繊維製品製造販売業の事業セグメントは社内業績管理単位である製品区分別の事業部門及び子会社を基礎としておりますが、製品の内容及び市場等の類似性をもとに集約しております。その結果、「繊維製品製造販売業」と「不動産賃貸事業」を報告セグメントとしております。

「繊維製品製造販売業」は、カジュアルウェアとして、カットソーニット、布帛シャツ、横編セーター、アウター、ボトム、その他洋品雑貨を取り扱っております。

「不動産賃貸事業」は自社物件の有効活用として、主にオフィスビルの賃貸を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日）

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,795,469	130,357	11,925,826	—	11,925,826
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,795,469	130,357	11,925,826	—	11,925,826
セグメント利益	1,283,686	50,379	1,334,065	△326,942	1,007,123

(注) 1 セグメント利益の調整額△326,942千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。